

[ポリエ]…石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことである。
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいには立っています。

〒754-0302 山口県美祢市美東町赤
TEL・FAX: 08396-2-2622
E-mail : akiosiecomuseum@yahoo.co.jp
HP : <http://www.c-able.ne.jp/~mitou-14/>

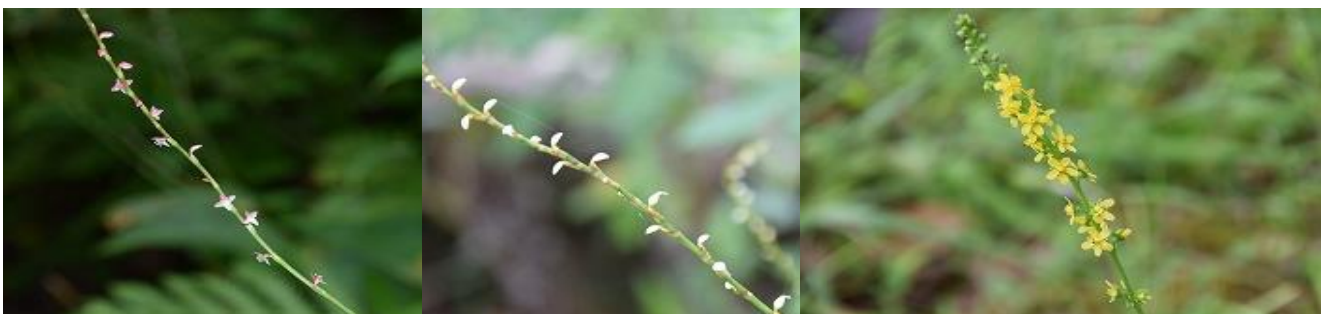
ようやく秋らしく 長者ヶ森と白い雲と航線

一雨ごとに季節は移っていくようです。9月になってからも暑さは続きましたが、半ばを過ぎたころからようやく朝夕の涼しさを覚えるようになりました。秋吉台の草原も、猛暑で枯れてしおれた葉は元にはもどりませんが、秋の気配は感じます。空模様も白い雲がぽっかりと幾つも浮かんで、ただそれを眺めているだけでも面白いものです。ススキの根方では、待ち望んでいたナンバンギセルも咲き始めました。深まり行く自然のようすを体感しに出かけてみませんか。



季節の草花 「ミスヒキ」 上から見て、下から見て、ナットク

林縁でよく見かけるミスヒキ。はなを上から見ると赤色で、下から見上げると白色です。それで赤白の水引にかけた名前です。縁起の良い名前をもらった割には、あまり目立ちません。花全体が白いものは、ギンミスヒキといいます。こちらはミスヒキに比べて自生数が少ないようです。キンミスヒキは、遊歩道沿いなどでよく見かけます。黄色い小さな花がたくさん付くところが似ていますが、前の2種はタデ科で、キンミスヒキはバラ科です。



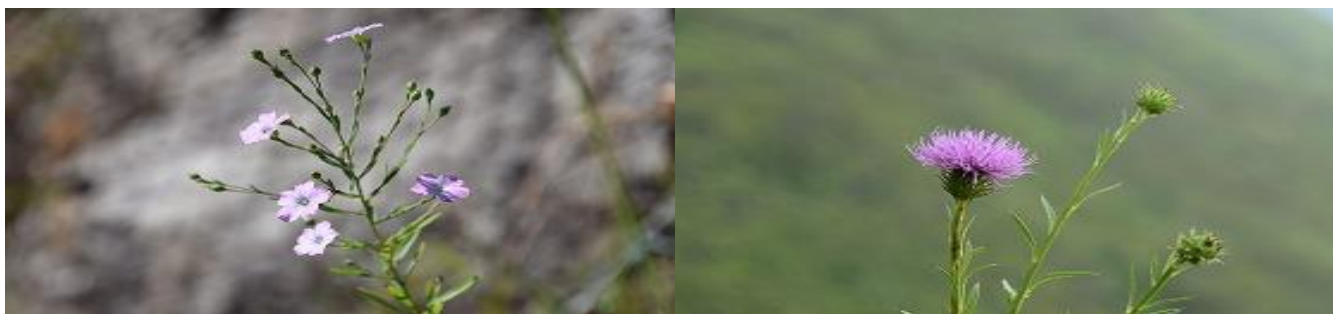
観察会「秋吉台の花めぐり」(9月22日) 自然が大好き子供たちは元気いっぱい

中沢さんに案内していただき「秋吉台の花めぐり」を行いました。午前8時頃までは雲が張り出して小雨が降っていましたが、間もなく晴れました。小さい子供たちが、桔梗ヶ原を登れるだろうか心配でしたが、どんどん先へと進んでいきます。中沢さんの説明をメモする姿もありました。花にとまった虫たちやドリーネ耕作のゴボウ畑にも興味深々です。遊歩道を登り始めると、草原を吹き上げてくるような緑の風が心地よく爽やかです。約2km、3時間ほどの「花めぐり」でしたが、初秋の気分を満喫することができました。



猛暑で本当に絶滅してしまったかと心配していたら……

まだ咲かないか、どこかに咲いていないかと思っていたところ、マツバニンジンが咲いていたとの情報をいただき、早速見に行きました。そこは何度も歩いたところですが、見つからないままでした。写真を撮ろうとしましたが、足場が悪くてうまくいきません。アキヨシアザミは、イヌハギを撮影していた時にその延長線上に赤いものが目につきました。今年は猛暑で花が咲かないのだろうとあきらめていましたが、多くはありませんが頑張って咲いてくれました。



10月の行事

10月6日(土) 「秋吉台お花畑プロジェクト2」

草刈りを行った後に、どんな草花が咲いたか観察します

10月21日(日) 「秋吉台の化石」

秋吉台で見ることのできる化石を観察した後、実際に化石採集を行ないます